

クロマキー合成する

★クロマキーは、キーフィル信号の特定の色相を基準にしてキー信号を作成します。

例えば、特定の背景色の前に立っている人物の映像から背景色をサンプリング(検出)してキー信号を作成し、別の映像に合成します。背景色は、グリーンやブルーバックの映像を使うのが一般的です。



(キー素材の選択)

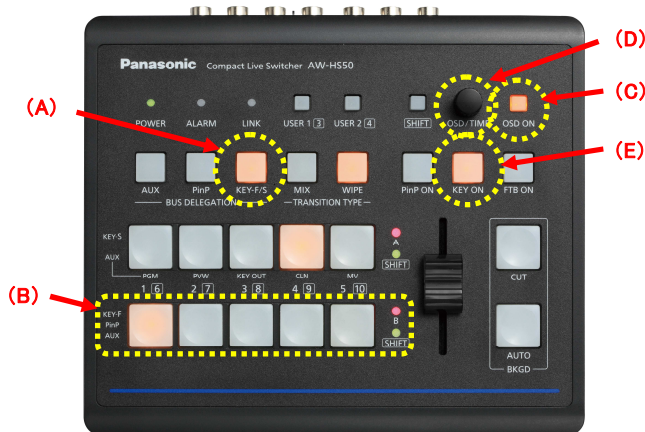
① KEY-F/S 釦-(図 1-A)を押してクロスポイント釦をキーバス選択モード(KEY-F/S 釦が点滅)にする。

② B バス列-(図 1-B)で、キーフィル信号を選択する。

* クロマキーは、セルフキーとして運用されるため、キーフィル信号をキーソース信号として使用します

③ KEY-F/S 釦を押してクロスポイント釦のキーバス選択モードを解除する。

(図 1: AW-HS50 操作部)



(キーのセットアップ)

⑤ OSD ON 釦-(図 1-C)を長押しし、メニューを表示させる。(メニューを消すには再度長押し)

⑥ OSD/TIME ダイヤル-(図 1-D)を操作し、キーのタイプ[クロマキー]、フィルのタイプ[Bus]に設定する。

・[4] KEY Setup Menu > 1. Key Type ⇒ [Chroma]-(図 2)

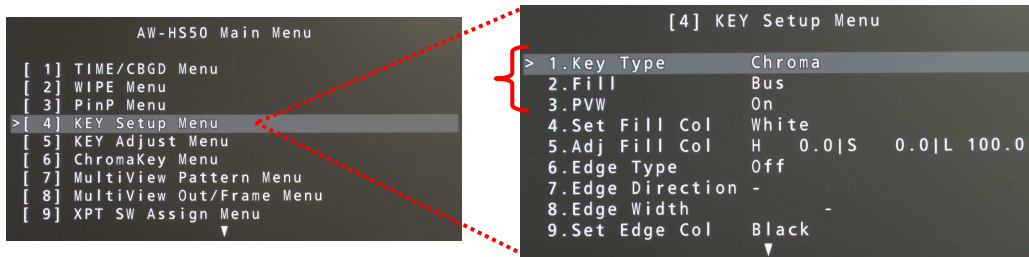
・[4] KEY Setup Menu > 2. Fill ⇒ [Bus]-(図 2)

⑦ PVW 映像にキー効果を付加した映像を出力して、キーの調整や確認することができます。

* 予め出力信号を[MV]などに設定し、PVW が確認できるように設定ください

・[4] KEY Setup Menu > 3. PVW ⇒ [On]-(図 2)

(図 2:AW-HS50 のメニュー表示画面)

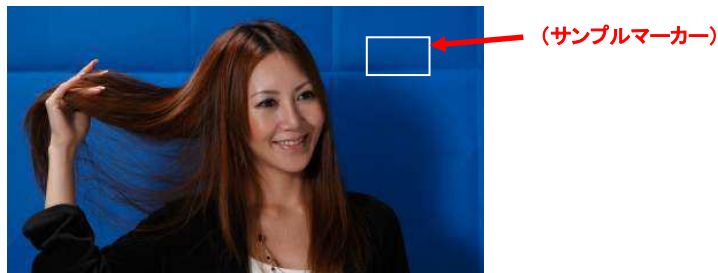


(クロマキーの調整)

⑧ クロマ成分をサンプリングするため、サンプルマーカーの設定を[ON]にする。

・[6] ChromaKey Menu > 1. Marker ⇒ [ON]-(図 3)

* PVW 画面に、「②で選択された映像+サンプルマーカー」が表示されます



⑨ サンプリングしたい領域(色)に、マーカー位置(X:座標、Y:座標)と大きさ(S:サイズ)を調整する。

・[6] ChromaKey Menu > 3. Marker Pos ⇒ [X、Y、S]-(図 3)

* 以下の設定を調整することで、サンプルマーカーのアスペクト比の変更が可能です。

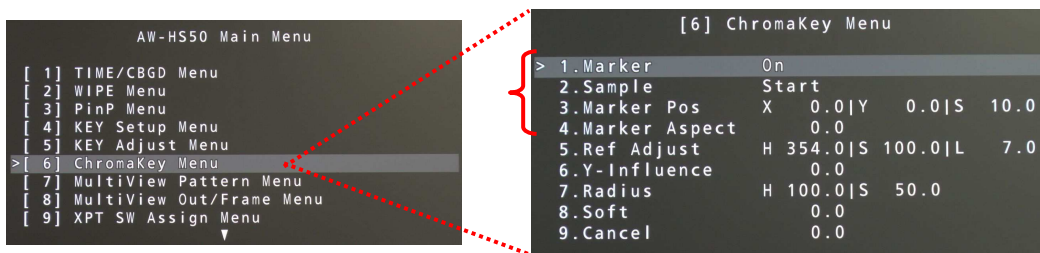
・[6] ChromaKey Menu > 4. Marker Aspect -(図 3)

⑩ サンプルマーカーで選択されているエリアの色相成分をサンプリングする。

・[6] ChromaKey Menu > 2. Sample ⇒ [Start]を実行する-(図 3)

⑪ KEY ON 釦-(図 1-E)を押して、キー素材の合成を行なう。

(図 3:AW-HS50 のメニュー表示画面)



★以下のメニュー設定内の各項目を調整することで、クロマキーの抜け具合を調整することができます。

設定は、メニュー:[6] ChromaKey Menu の各項目を設定・調整してください。-(図 4)

(図 4:AW-HS50 のメニュー表示画面)

The image shows a terminal-style menu for ChromaKey settings. The menu items are:

- 1. Marker On
- 2. Sample Start
- 3. Marker Pos X 0.0|Y 0.0|S 10.0
- 4. Marker Aspect 0.0
- 5. Ref Adjust H 354.0|S 100.0|L 7.0
- 6. Y-Influence 0.0
- 7. Radius H 100.0|S 50.0
- 8. Soft 0.0
- 9. Cancel 0.0

Callouts provide the following explanations:

- 5. サンプルした色からクロマキーの基準にする色の色相 (H)、濃さ (S)、明るさ (L) の設定
- 6. Y成分の影響度の設定 (値が大きいほど影響度大)
- 7. 抜く色の範囲の大きさ (H)、抜く彩度の範囲の大きさ (S) の設定
- 8. 抜く色の境界のソフト効果の量の設定
- 9. 色消し量の設定
フィル映像に背景色がかぶっている場合に設定

*各項目の詳細は取扱説明書<操作・設定編>P15~P16をご確認ください。